

記入日：令和4年 1月24日

令和4年度 ショートステイ翠風 こはくユニット運営計画書

施設長	フオリター	作成者

～私たちは、地域に信頼されるべき存在であり続けます～

中期経営計画目標 (2020.4-2023.3)	：“KAIGO × テクノロジー” ～超高齢化社会・生産年齢人口急減社会にあっても、地域の皆様に高品質のサービスをお届けするために～
法人事業計画目標	：介護福祉のよいところは守り、みなおすべきところは“飛躍的な革新”を図る

ユニット運営計画目標：挑戦と改善 ～質の「定着・安定・効率化」を目指して～

行 動 計 画 表

(期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日)

区分	項目	ねらい	手順	具体的行動計画（実践をするために何をするか）					実施結果と今後の展望
				誰が	誰に対して	何を	どのように	いつまでに	
1	⑤	スタッフひとりひとりが新しい組織として、これまでの仕事に対する常識を捨てる 翠風独自の新たな取り組みに挑戦し、地域信頼をより効率的に実現する その過程の中でスタッフひとり一人の主体性を向上させる	説明	特養係主任 ユニットリーダー	生活相談員 特養係主任 ユニットリーダー ケアワーカー	業務改善による質の効率化、経営理念の理解推進	令和4年度ユニット運営計画書について、当該項目の説明を行う	4月	
			実施	生活相談員 特養係主任 ユニットリーダー ケアワーカー	生活相談員 特養係主任 ユニットリーダー ケアワーカー		毎月のユニット会議にて経営理念を復唱し、意味を確認し合う 新しい組織として、これまでの常識にとらわれず、業務効率に向けた新しい取り組みをユニット会議で議論する	毎月	

				特養係主任 ユニットリーダー ケアワーカー	特養係主任 ユニットリーダー ケアワーカー		ユニット会議で議論した内容を実施する 年度内に新たな取り組みを5例以上 実施し、業務改善や質の効率化を図る	毎月 3月	
			評価 改善		特養係主任 ユニットリーダー ケアワーカー		実施した取り組みの評価と改善を行う 他のユニットや部署で活用できる事例 は共有を図る		
3	㊸	家族との密な連絡や情報共有を行い、家族・利用者の要望やニーズを汲み取り、ひとり一人が求めるサービスを提供する	説明	ユニットリーダー	生活相談員 ユニットリーダー ケアワーカー	家族や利用者との連携、意向の汲み取り	令和4年度ユニット運営計画書について、当該項目の説明を行う	4月	
			実施	生活相談員 ユニットリーダー ケアワーカー			日頃の利用者や家族と関わる中でコミュニケーションを円滑に行い、要望や意向を汲み取る	毎月	
			評価 改善				要望や希望を把握した場合に早急な対応を行うとともに、モニタリングや検討を行い、24時間サポートへの反映やひとり一人の意向に沿ったケアの実践を図る		
			実施	施設長 特養係主査			苦情解決窓口の設置	通年	
その他①		全体的なシステム構築による業務改善効率化の実現	説明	ユニットリーダー	生活相談員 ユニットリーダー ケアワーカー	システム強化、利活用	令和4年度ユニット運営計画書について、当該項目の説明を行う	4月	
			実施	特養係主任 ユニットリーダー	特養係主任 ユニットリーダー		VBA (Visual Basic for Applications) 活用による勤務表、集計表の自動作成を継続実施、より細やかな勤務が自動作成できるようなシステムの改善	3月	
							CSS (Cascading Style Sheets)、HTML (Hypertext Markup Language) 等のマークアップ言語や PHP (Hypertext Preprocessor) 等のプログラミング言語		

			介護支援専門員 生活相談員 管理栄養士 特養係主任 看護職員 ユニットリーダー ケアワーカー 施設長	介護支援専門員 生活相談員 管理栄養士 特養係主任 看護職員 ユニットリーダー ケアワーカー ケアワーカー		を活用した業務改善方法の模索 NAS(Network Attached Storage、ネットワークアタッチドストレージ)を活用した個人ファイルゼロ、利用者に関する書類ゼロの実施【継続】 Zoom、meet、Teams を活用したオンライン会議の実施【継続】 介護ソフトの活用【継続】 介護味ットの追加導入、継続活用		
その他②	その他の項目として					①グリーンホームだよりの更新 ②高齢人材の活用(介護助手・生活援助等) ③虐待防止・身体拘束の適正化の継続(年2回以上の研修実施) ④風通しのよい職場環境の維持 ⑤感染症対策(年2回以上の研修実施) ⑥BCP(事業継続計画)に関する取組の実施(年2回以上の研修実施) ⑦ユニット費活用による設えの工夫 ⑧既存の勤務形態の破壊による常識にとられない勤務の工夫 ⑨C棟・翠風棟間の連携強化システムの構築 ⑩コスト削減への取り組み	週1回以上 通年	